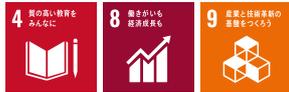


要請番号 (JL63623B31)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ルワンダ	D252 木工		個別	交替 2代目	2年	・2024/2・2024/3・ 2025/1

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

教育省

2) 配属機関名 (日本語)

ルワブイエ職業訓練校

3) 任地 (南部県フィエ郡) JICA事務所の所在地 (キガリ市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (車で約 3.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先は1975年に開設された職業訓練校であり、現在7つのコース(溶接・レンガ建設・木工・洋裁・料理・理容・電気)がある。2022年度の年間予算は約176,000米ドル、生徒は約500名が在籍している。JICAの技術協力プロジェクト「障害を持つ除隊兵士の社会復帰のための技能プロジェクト(2005年~2008年)」及び「障害を持つ元戦闘員と障害者の社会復帰のための技能訓練及び就労支援(2011年~2014年)」を通じて技能訓練を委託したセンターであり、障害者を受け入れた実績がある。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

2014年3月にJICA技術協力プロジェクト「障害を持つ元戦闘員と障害者の社会復帰のための技能訓練及び就労支援」が終了した後、洋裁コースにおける授業の質の向上及び教員のスキルアップを目指した協力隊員の要望があり、2010年から2代にわたり洋裁の隊員が派遣され、生徒及び教員の能力や職業意識の向上についての成果がみられた。木工コースに対して同様の成果を期待しての要請があげられることになった。木工コースは2021年度から3年制になったが、生徒は教科書や参考書を持っておらず、板書・口頭説明が中心の授業となっている。前任となる隊員は、木工コースの教員に対する助言、道具のメンテナンスや作業環境の整備指導等を行った。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- 木工コースの授業を担当し、基礎から応用に至る実技指導を行う(1年:木材の接合、製材から仕上げまでの家具製作、道具・工作機械の使用法、製図など。2年:AutoCAD、住宅木製床、型枠、溶接基礎、インターンシップ。3年:建築デザイン、躯体・屋根構造、外壁、インターンシップ)
- 現存のカリキュラムの検討及び作成を行う。
- 木工コース担当教員へ物品管理や環境整備、授業の組立てについて助言したり、応用技術についての技術指導を行う。
- 地域の市場調査や作業所訪問を行い、インターン先の開拓や現地のニーズにあわせた製品づくりを調査する。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

作業室、木工具(ノコギリ、ノミ、西洋式カンナ、手動ドリル、クランプ)、木工機械(テーブルソー、木工旋盤、刃物用研磨機、自動一面カンナ盤、手押しカンナ盤2台、ベルトサンダー)

4) 配属先同僚及び活動対象者

同僚:学校長(男性、40代)、教頭(男性、50代)

教員:35名(男性25名 女性10名 20~60代)

うち木工コース教員 2名 (男性、20～30代、指導経験2～5年)
職員:12名(男性7名 女性5名)
活動対象:木工コースの生徒27名(男性20名、女性7名 15～21歳)

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

その他

7) 選考指定言語

英語(レベル:C)

【資格条件等】

[免許]： ()

[学歴]：(専門学校卒) 備考：専門的な知識が必要なため

[性別]： () 備考：

[経験]：(実務経験) 5年以上 備考：活動で実習を行うため

[参考情報]：

- ・家具製作技能士か大工技能士(3級) 必須

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(サバナ気候) 気温：(13～30°C位)

[電気]：(不安定)

[通信]：(インターネット可 電話可)

[水道]：(不安定)

【特記事項】

- ・大学卒(技術科教育)も可
- ・実務経験を証明する英文の証明書をルワンダ政府に提出する必要がある。(大卒の場合は不要)
- ・実際は現地語の使用も多いため、赴任後、現地語であるキニアルワンダ語の語学研修を行う。